

<%name%>さま

いつもお読みいただきありがとうございます。

西です。

前回に続き、まさかの三本立てです（笑）

前回は、働かなくてもお金がもらえるシステム、
ベーシックインカムの話とか、

でもベーシックインカムが日本に導入されることは
（少なくとも10年20年くらいは）ないとか、

そういう話しをしていきつつ、

“生活必需品の生産コストは今後確実にさがる”

みたいな話もしました。

どこまでを「生活必需品」と定義するかにもよるけど、
少なくとも、生きるだけならできるというコスト、

それは確実に下がっていくと。

あらゆるもののコストが、技術の発達によって下がっていく。

誰でも低コストで手に入れることができる社会になる。

と同時に、あらゆる仕事が人件費の高い人間の手を離れ
機械に置き換わっていく、っていう話もしましたよね。

“技術の進歩は不可逆”

っていうふうによく言われるんですけど、
この流れって絶対に止まらないわけです。

で、今日はその中でもすごく現実的な話をしようかなと思います。

それは、

“今後、人間に求められるものは何か？”

っていうこと。

これがわかっていないと、
将来的に機械に置き換わる仕事を
知らず知らずのうちに今一生懸命修行してます！

みたいな残念なことになるからですね。

それは前回も触れた内容ですけど、
ザックリとでも未来の展望が見えているかどうか
っていうだけでも“今”の生き方が変わってくる。

そういう話です。

例えば今、どういう仕事が機械に置き換わっているかというと、
誰にでも見えるところと言えば、

・小売店の定員

まずはここが、現在進行形で進んでいますよね。

定員さんが商品のバーコードをスキャンして
お金を受け取って、おつり返す、という従来の当たり前の作業は

日に日に、セルフレジが導入されたり、

段階的なステップとして、バーコードスキャンだけは定員がやって、
でもお会計は精算機でやってください、

っていうところ、すごく増えてます。

コンビニでも、実験的に「スマート店舗」っていう無人営業がローソンの一部の店舗ですで行われています。

これに関してはもう数年以内に確実に、かつ、加速度的に拡大していくはずですよ。

もちろん他にもたくさんありますけど、大事なのはここからですよ。

往々にして、

“型にはまった”

仕事というのは、今後どんどんきつくなるということ。

これを理解しておかきやいけない。

つまり、「あなたの職業は？」って聞かれて、

「私は〇〇の仕事をしています」

っていうのが、もうあっさり簡単に言えてしまうような仕事。

もちろん「〇〇の仕事です」と一言でいえてもその中身はかなり独自性がある、っていう場合もあるので、

一概には言えないですけど、概ねそんな感じだと思ってください。

なぜ型にはまった仕事がどんどんきつくなるかという、

決まった「型」があるってことはそういうのって機械が得意とするところなんですよ。

その「型」に当てはめて実装していけば、もう技術次第で機械に置き換え可能だから、

今後、機械との競争に巻き込まれていくというのは想像に難くないし「型」にはまり続けていたら、機械には勝てなくなる。

ただ、本質は“機械がどう”っていうわけじゃないです。

「型」っていうのは

“人間にも理解しやすい”

ということを忘れてはならない。

機械に仕事を奪われた人たち、もしくは奪われそうな人たちが次にとる行動って「型」がある今とは別の仕事を指そうとします。

なので、まだ技術が追い付いてなくて完全には機械に置き換わらないけれども、「型」があるならそこに多くの人が集中して競争は激化していきます。

「これをやればいい」

っていうのがわかっているものって、機械にも“人にも”わかりやすい。

「私は弁護士です」

「私は教師です」

「私はプログラマです」

「私はタクシー運転手です」

「私は保育士です」

とか、すごいわかりやすいですね。

もちろんそれぞれに“難易度”があるので、そこに参入障壁はあるけれども、

わかりやすい、というのは一つ重要な事実。

保育士って、絶対に機械には置き換わらないと言われている職業ですけど、

機械に置き換わらない=じゃあ大丈夫

っていうわけではないんですよ。

もう現状として保育士自体もかなり“キツイ”。

保育士の給料が激安なのは有名な話しですけど、意外と激務なのはあまり知られていません。

子ども生まれたら辞めなきゃいけないから、結婚しても子どもが産めない、なんていうのが普通にまかり通ってる。

あんま知られてないけど“闇”の深い職業です。

もちろん、それは法的に NG だけれども、

法に触れないぎりぎりのラインで、あらゆる手を使って辞めさせようとするのが常套手段。

表向きは法令順守で、ちゃんと産休も育休も取れるんだけど、なぜか育休から復帰できないって普通にありますからね。

いま保育士がめちゃくちゃ人手不足だって言われているけど、あれは嘘です。

保育士の資格を持っている人ってめちゃくちゃ多いんですよ。

でも、

“めちゃくちゃ辞めていく”

んです（苦笑）

保育士資格って、バリバリの業務系の資格だから、
その資格とる人って、もうほぼ全員保育士になるために取ってるんですよ。

専門学校に通って。

趣味でとるような資格じゃないし、
僕みたいなノリで宅建とったり行政書士とったりして、
でもその仕事はしてませーん。

みたいなのとはわけが違いますからね。

ガチで保育士になるために、資格を取ってる人がほとんどだし
逆にそういう人にしか取れない資格ですからね。保育士って。
（実習過程とかもありますし）

そういう性質の資格なのに、

“めっちゃめっちゃ辞めてる”

給料安い割に、責任も重いし、シフト勤務も結構大変だし、
行事の準備が必要でも残業禁止だから仕事を家に持ち帰らなきゃいけないし、

子ども産まれたら仕事がほぼ続けられない。
（あの手この手で辞めさせようとする）

「結婚してもいいけど、子どもはしばらく作らないでね」

なんて普通に言われるし、
園によっては、暗黙のルールで「妊娠していい順番」が
年功序列で決まったりもするらしい。

そもそも、子どもが好きで保育士になる人がほとんどだから、
結婚したら絶対自分の子ども欲しいんですよ。

でも、仕事と子どもを天秤にかけざるを得ないという状況は、

他の業界よりも相当厳しいです。

めちゃめちゃたくさんの方が、保育士になるために免許取って、ほとんどの人は保育士になるけど、

その後、めちゃめちゃ辞めていくんです。

働けるのは、専門学校卒業したばかりの、20代の若くて体力があって、独身か結婚してるけど子どもはいない生活コストが高くない人だけ。

だから、ほとんどが5年以内に辞めていく。

本質は、人手不足でもなんでもなくて、ただただ「待遇」の問題なんですよ。

保育士一人にそんなに給料を支払えないという現状がそうさせてる。

妊娠した保育士に休業を取らせて復帰させるようなコストや人員の余裕を確保できない現状がそうさせてる。

「固定担任制度」とか、（これは学校とかにも当てはまるんだけど）そういう古くからの業務体制が一向に改善されない非効率さも相まって

ほとんどが女性の職場なのに、極めて女性が働きづらい。

それが保育士業界。

保育士やりたい人はたくさんいるんですよ。

やるための資格を持ってる人もたくさんいるんですよ。

でも現実的に今の待遇で「やれる」人がいない。

それだけ。

保育士の資格保有者は、2013年の時点で118万6000人いて、そのうち現役保育士が42万7000人というデータがあります。

つまり、現役保育士よりも圧倒的に多い75万人以上が、資格を持ってるけど、ガチで保育士になるために資格を取ったけど、保育士やってないわけです。

“じゃあ保育士の待遇が改善されたら万事解決？”

って思うかもしれないけど、これもそんな単純な話しじゃない。

もし仮に、どうにかして国からの補助金が増えたりして資金面で待遇が改善できたとしてもしょう。

そうしたら、いま保育士やってないけど、元保育士で仕事経験あって資格は持ってます、っていう人たちがどう動くか。

「そこまで待遇改善されてるなら復帰もアリかな」

って考えるかもしれませんね。

現役保育士よりも“圧倒的に”多い75万人が動き出す。

もちろんその中には、年齢的に引退している世代も含まれるけど、まだまだ30代40代くらいでバリバリ働ける人はたくさんいるはずですよ。

現役保育士は働き続けるし、年々新しく資格を取ってくる保育士もいる。

その中で、誰が“待遇の改善された”保育士として働けるのか。

おそらくですけど、熾烈な競争が待ち受けているでしょう。

“人じゃなきゃできない仕事”

っていうのも、「型」にはまってしまうと
そうとうキツイ競争に巻き込まれていくんだ、

ってというのが僕の最近の考えです。

ここが大事なところ。

別に特定の職業を批判したいわけではないです。

もし保育士の方がこれ読んで不快な気持ちになったら
めちゃくちゃ申し訳ないんですけど、批判の気持ちは全くありません。

というか個人的には僕は保育士の人大好きですからね。
(イヤらしい意味ではない・笑)

僕は保育士の人と結婚してますからね！

(結局嫁も、子どもが生まれたときに保育士辞めちゃったんですけど...)

保育士ぜんっぜん！大好きですから！！

「お前に好かれても」って感じかもしれないけれど(笑)

まあそれはさて置き。

「型にはまるかどうか」ってというのが、
僕は今後、仕事の在り方のキーワードになると思います。

保育士なんだけどただの保育士じゃない。とか。

そんな保育士、日本にはあなたしかいないよね、とか。

それが具体的に何なのかはわからないけれども
(だって型にはまってないんだから)

そういうものを持った人。

僕は以前に Infinity (ビジネス系メルマガ) の中で、

“組み合わせのマジック”

っていうのを伝えていて、

あれとあれとあれを組み合わせで、
新しい何かを生み出す、みたいな、

そういうのも

「型にはまらない」ものを作るための一つの
わかりやすい方法ですよ。

僕が趣味のようにいろんな分野の資格を取ってるのも、
単に趣味でとってるわけじゃなくて、

“組み合わせの母数を増やしている”

っていう感覚なんですよ。

もちろん資格だけじゃなくて、哲学とか脳科学とか宗教とか
人体構造とかスポーツとか、いろんなことを勉強しているのも、

それぞれ単体で見ればバラバラで、

それぞれが「型」にはまったものなんだけど、

それらが組み合わさったときに、もはやその「型」は
消えてなくなるわけです。

僕だけの、僕だけにしかできない“何か”、

それが初めて生まれてくる。

それを僕は「組み合わせのマジック」と呼んでいます。

それができる人が、今後の社会において、
熾烈な競争に巻き込まれることなく、

“自分の生き方”

を実現することができるんだ、ということをぼんやり思っています。

僕が見ているのはそういう未来です。

本当は **Infinity** の中で、ビジネス系メルマガの中だけで
この話題を書こうかなと思ったんですけど、

これは、今頑張って資格を取っている人にはめちゃめちゃ関係することなので、

あえてビジネス的な内容なんだけど、ここで書きました。

「資格」というのは、それ単体では「型にはまった」ものです。

これは紛れもない事実。

資格なんてゴリゴリに型にはまっています。

だけどそれを、“組み合わせ”の一つの要素として
自分の中で活かして、価値として昇華したときに、

自分だけにしかできない、何かが生まれる。

この世界の中で、自分という人間は、自分一人しかいないんだ。

これは自分という人間だからできる仕事なんだ、

そういうものを“創りだせる”人間。

そういう視点が、今後の社会に

「人間の仕事として」

必要になってくるはずですよ。

それが今後の社会の変化の波の中に飲まれることなく、

逆に波に乗ってサーフィンを楽しむことができる、

そういう生き方を実現するための、重要なキーワードになると僕は思う。

おっと、なんか気が付いたら今回のメルマガだけで
軽く一本くらいセミナーができてしまいそうな内容になってしまいましたけど、
今日のメルマガは以上になります。

最後までお読みいただきありがとうございました！

西